ボーリング柱状図

調　査　名	一級河川太田川水系　右平川通常砂防事業に伴う業務委託
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	1	3	2	6	3	7	3	0	0	2

シートNo.

ボーリング名	Bor No.2_下流	調査位置	広島県広島市安佐北区安佐町小河内	北緯	34° 33' 37.7600″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 2月25日～ 令和2年 2月28日	東経	132° 25' 13.6500″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	GH 294.32m	角度	180° 上 下 90° 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦DO型	ハンマー落下用具 半自動型
総掘進長	4.00m		エンジン	ヤンマー　NFD12	ポンプ 東邦BG-3C型

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
	294.02	0.30		腐植物混じり砂	暗茶						木根などの腐植物と土砂が混在。	10[10](100)		2/27 0.65						2/26	40	66	打込み/	0	0	0	無水/0	0
	293.52	0.80		砂礫	茶緑						Φ5～10mm程度の亜角～角礫および粗砂を主体とする。玉石が砕け角礫状となったものを含む。	(100)	CL	1.00								66/ケーシング	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	20	100	0	清水/4	2
1						D	Ⅳ	c	β	2		17[69](100)																
2				花崗岩	淡白	C	Ⅱ	a	β	1	比較的新鮮で硬質な花崗岩である。一部，礫状となる箇所が見られる。節理沿いに亀裂が生じている。亀裂面は，褐色に変色し，亀裂間ではブロックまたは細礫状となる。亀裂角は，70～80度の高角なものと10度程度の低角なものとなっている。	33[75](100)	CH															
3												44[44](100)										50	66	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	30	100	0	清水/4	2
4	290.32	4.00																		2/27								
5																												
6																												
7																												
8																												
9																												